

# ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部



今昔の思いは遠き夏木立

西町 金澤 頼子

懸命にいのちの限り蝉時雨

元町 西崎 弘子

雨乗香り鎮むや夏薔薇

元町 印牧 安子

蝉鳴くや儚ない命いとおしむ

仲町 坂部 和子

大夕立恵みの雨となりしかな

西原町 児玉 久美子

はまなすの日を弾くまで盛りけり

仲町 玉野 研一

物忘れ多きひと日や茄子の紺

緑町 池田 良子

おぼつかぬ子に尚優し母鳥

仲町 梅基 文子

十葉のはびこる庭の憂いかな

旭町 大河 博子

祭りくる家族あつまる夏嵐

西町 岸波 君江

炎天の路地に無人の野菜店

西町 杉浦 とし枝

耳鳴りを年のせいだと夏深し

藤本町 鈴木 ゆき子

苺摘み自作の幸の御裾分け

西岡町 高瀬 久美子

白南風や米粒餌に小鳥来て

東町 高橋 世津子

春めいて園児等おろしたての靴

仲町 芳賀 星子